

特集／町内会・自治会

住んで良かったと思えるまちに



誰もが安全で快適に暮らせるまち、住みよい豊かなまちをつくるために、町内会・自治会があります。地域のつながりを大切にする事で、お互いに困ったとき、助けてほしいときに協力しあうことができます。「ずっと住みたいまち」「住んで良かったと思えるまち」にしたいですね。

町内会・自治会の役割や活動を紹介します。
関市民活動推進課（☎504-2131、☎504-2066）

負担より楽しさの方が
大きい町内会活動に

若草町内会（東区若草町）

広

島駅新幹線口周辺の「エキキタ」という愛称で親しまれる地域の中にある若草町は、再開発で新しくなったエリアと昔ながらの雰囲気のエリアが混在する魅力あふれるまちです。

町内会長を務める
田村辰生さん(64)にお聞きしました

■若草町内会のこれまでの活動についてどう思われますか

町内会は、今年で発足60年。先輩方が苦労して作ってきた若草町内会の組織や盆踊り、亥の子祭りといった伝統行事を継続してこられたことに感謝しています。それらを大切にしつつ今に合ったやり方を提案し、若者の思いを聞きながら、次につなげていきたいと思っています。そのため、将来のまちの担い手となる子ども会や若い人の活動を大事にしています。口は出さずに見守るようにしています(笑)。

■町内会活動で大切にしていることは何ですか

まず隣を知る、あいさつをする、声を掛けることから始まると思います。いろんな行事の際、家から一歩出て顔を出してもらう、そしてこちらから声を掛ける、手伝ってもらう、一緒に楽しむ、その繰り返しで、思い出を



作っていく…、町内会はこうした小さな積み重ねが大事ですね。

■行事を続けることは大変ではないですか

行事に参加する側はもちろん、開催する側も楽しいと思えないと長続きしません。仕事や子育てなどそれぞれの都合がある中で、みんなができることを無理なくやっていくことが重要だと思います。

例えば、子ども会の行事でも、親たちに任せきりにするのではなく、高齢者や女性会が積極的に参加するようにしています。それぞれが率先して役割を果たしながら、足りないところはカバーし合い、負担感を少なくしてみんなが楽しめるように取り組んでいます。主役の子どもよりも楽しんでる大人もいますよ(笑)。知り合いが増えることで、地域の輪がより一層広がっているように感じます。

■今後どんな町内会にしたいですか

先日、若い人から「おじさん元気にしとるん」と声を掛けられ、誰かと思って見れば成長した若草っ子だったということがありました。うれしいものです。若草中の人がこのようなファミリーみたいな存在になればいいですね。

そこに住む人たちが協力し分かち合い、楽しんでまちを作っていくことが大切。町内会は負担よりも楽しさの方が大きいんですよ。



地元と呼べる場所がある幸せを感じています

小中学生の頃、子ども会でお世話になっていた皆さんが、今の役員の方々です。中学校卒業後は、地域の活動から遠ざかっていましたが、自分の子どもが盆踊りや祭りに参加するようになったのを機に、町内会活動に携わるようになりました。皆さんが昔と変わらず気さくに声を掛けてくれたので、自然と地元のために何かしたいと思うようになりました。

行事を通して知り合いになった若手で「やらされるのではなく、自発的に楽しんでやろう」と青年部を

立ち上げました。町内会長を始め、ベテランの皆さんに温かく見守っていただき、必要な時は、しっかりサポートしてもらえているので、行事の準備なども、不安なく、無理のない範囲で取り組むことができています。

子ども会は一時期数人に減りましたが、皆さんの声掛けなどで、また会員数が増えてきています。マンションに住む子どもたちが、まず盆踊りなどの行事に来て、楽しかったから子ども会に入り、その親が町内会に入るといつながりもできています。



確井 卓志さん(35)



この日集まった町内会の役員若草の皆さん

町内会に対する皆さんの思いをお聞きしました

菅名誉会長(写真①) 昨年の3月まで21年間、会長を務めていました。あいさつ、声掛けを大事にする気持ちは昔と変わっていません。若草町がいつまでも変わらないよう心掛けています。 **貞盛副会長**(⑤) 元気なまちであるには、まずお年寄りが元気でないと。健康教室やサロンなどを開催し、家にこもらないようにしてもらっています。子ども会と高齢者で一緒にイベントなどもしています。 **武田副会長**(⑥) 町内にホテルがあるので、お祭りのときには外国人の参加も増えてるんですよ。支え合い楽しむことが大切ですね。 **沖野総務部長**(⑦) 高齢の方が増えているので、見守り支えていくことも町内会の役目だと思っています。 **杉山総務広報部長**(③) 町内掲示板や回覧板はやはり大事。人と人とのつながりが大切だと思っています。 **浅野事業部長**(⑨) 若草町の自慢は、「盆踊り」と「亥の子祭り」。盆踊りのやぐらは、市内でも珍しい昔ながらの木組みのもの。修理しながら今も使っているんですよ。この伝統を守っていききたいですね。 **原田女性会担当主査**(②) お祭りの時には踊りを子どもたちに教えています。後継者を育てたいですね。

町内会活動に参加してもらうために、次のような工夫をしています

- 町内会行事や高齢者活動など、毎年同じ日程に決めて定例化。スケジュールが立てやすく参加しやすいようにした
- 加入促進のため、東区役所と連携して、町内会で案内パンフレットを作成し、未加入の各戸へ配布。掲示板で行事などの活動を紹介するなど
- 子ども会入会案内を、町内会が作成して回覧・掲示。子ども会活動を通して、町内会入会へつながる連携をしている
- 将来の若草地域のまちづくりのために、勉強会を開催